

2014年度TTC総会開催案内

3/15(土)18:00-21:00、睦合南公民館において、2014年度総会を開催しますので、万障繰り合わせてご出席ください。なお、別途お知らせしてある2014年度会費・保険掛金の合計額を当日までに納入ください。新年度会費等が未納で、総会に欠席されるメンバーは、会計係に連絡の上、総会までに納入ください。また、軽食を準備する都合上、欠席されるメンバーは3/9までに会計係までその旨お知らせください。

新年度メンバーが確定

3/末をもって現役メンバー4名が退会(氏名削除)、2名が休会(氏名削除)となり、新年度は現役メンバー51名(うち、シニアメンバー16名)／休会メンバー4名でスタートすることが確定しました。

山行実施結果報告

★竜ヶ岳(提案)★★1/25(土)日帰、マイクロバス利用。天候:晴/曇、参加16名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。思いのほか積雪が少なく、アイゼン着脱のタイミングに苦労。

★菜畑山(定例)★★2/8(土)日帰、マイクロバス利用。申込11名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。前日及び当日大雪のため中止。

★二宮吾妻山公園ウォーキング(ゆ)
★2/1(土)日帰、公共交通利用。天候:晴、参加18名。CL/救護/計画:、SL、会計:なし、スタッフ名削除。菜の花と相模湾、丹沢の大展望を堪能。帰路、希望者のみで湘南平に立ち寄る。

★鳶尾山(提案)★2/22(土)日帰、公共交通利用。天候:晴、参加:28名。CL/計画/救護:、SL、会計:スタッフ名削除。氏名削除さんの送別山行として急遽実施。当初計画した仏果山・高取山は大雪で実施困難になり、直前に

行き先変更。鳶尾山頂上でうどんパーティー。

★三浦アルプス(定例)★★
3/1(土)日帰、公共交通利用。申込26名。CL/計画:、SL、会計:なし、救護:スタッフ名削除。雨天予報につき中止。

至近の山行予定

◇奥多摩日の出山(提案)★★
3/8(土)日帰、公共交通利用。申込15名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。吉野梅郷の観梅を堪能。

◇丹沢主脈縦走(提案)★★★
3/21-3/22;1泊2日。公共交通利用。申込10名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。要冬山装備。

3月募集山行

◆鳶尾山お花見(定例)★☆☆
4/5(土)日帰。計画:氏名削除。

◇甲州茶臼山(ゆ)★☆☆4/8(火)日帰、マイクロバス利用。計画:削除

山の花、野の花

ホトケノザ【仏の座】(別名サガヅ)
ガクサ【三階草】(シソ科ホトリウ属の一年草あるいは越年草)



シソ科ホトケノザ
(別名サガヅイウ)



キク科ホトケノザ
(別名コニシヅナ)

日当たりのよい田の畦道、道端や川の土手等に早春一番に紫色の花を咲かせるのが、シソ科ホトケノザ。群生してピンクの絨毯のように見える。この花が咲くと、近隣種のオド

◇大山三峰宝尾根(提案)★★

★☆☆4/12(土)、計画:氏名削除。

◇伊豆ヶ岳・子ノ権現(提案)★

★☆☆4/26(土)、計画:氏名削除。

キリマンジャロ登頂記

2013年12月13日~22日

#082 氏名削除

アフリカ大陸の最高峰(5895m)日本の反対側、赤道直下の山、高い山だけが山じゃあないけど一度は挑戦したくなる。ボルネ島のサバルに登った時も高山病にもならなかったのが今度はいよいよ私でも登れるか、挑戦してみようかと不安は90%、残りの10%にかけてみた。荷物は10kgまでポーターに預けられるので自分は飲み物と他いろいろ。ペットボトルは持ち込み禁止。持っていて見つかったら現地リーダーに大変な罰金があるという。プラスチックの折りたたみができる計量ボトルを持参。お湯を入れれば湯たんぽ↓

リコソウやヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ等が後を追うよう次々に咲きだす。名前の由来は、葉を仏様が座る座布団に見立てて名付けられたという。高さ10-30cmに成長し、茎の断面は四角形で柔らかく、葉は対生して、縁に鋭い鋸歯があり、下部は枝葉を持つ円形、上部は葉枝がなく茎を抱く。花期は2/中-6月。上部の葉脇に長さ2cmの紫色の唇形状の花をつける。アジア、ヨーロッパ、北アメリカ等に広く分布。日本では北海道以外に自生する。

正月に食する七草粥のホトケノザと混同され、実際に食されている例も多いらしいが(美味しくはないが毒性はない)、平安時代から続く七草粥のホトケノザは、キク科ホトケノザ(別名コニシヅナ)で、主として田の中に自生する二年草。黄色の花を咲かせるが、正月の時期、花はなく、地を這いつくばるロゼッタ状の葉を目印に見つけるのは素人には難しい。

↑にもなるし、ヘルメスも持参。食事後お湯か水を入れてもらう。

登山口から樹林帯へ熱帯雨林特有の匂いもなく順調に進むと雨。雨具をつける。今回の山行では4日まで雨に降られ登頂の日からは雨具をつけずに済んだ。一日目はマシハット小屋(2727m)に宿泊。三角屋根の二段ベット、朝起きると小屋の入口まで紅茶のサービス、顔洗うお湯まで持ってきてくれる。外に洗面所とトイレがあるのに・・・

小屋を出ると白黒コバスという体の毛のワサワサした猿が木に登り食事をしている。皆が写真撮っても全然逃げずどっちが見られているのか不思議。

樹林帯を抜けると緩やかにダラダラと登っているのがこれが曲者。草原帯を高山病にならないようにとパルスオキシメータを使い血中酸素を測る。足りないと呼吸法を変えて全員が山頂に立てるようにと一生懸命に協力してくれる。感謝、感謝でした。ボロンハット小屋(3720m)に高度順応のため2泊。4000mまで行くが生憎の天気、雨風が強くなり戻る。高度順応しながらギボハット小屋を目指す。キリマンジャロは見えているがまだまだ遠い。サドルと呼ばれる砂礫帯を風もなく穏やかにゆっくりと、高山病に気をつけながら呼吸もすこし苦しいが一步一步と途中ではジャイアントセネオと呼ばれる大きなキ科の植物やハバリアという大きな木が植物かが出てくるが登るのが精一杯で帰り道ですごさを知った。

最後の小屋ギボハットで登頂に着ていくものを一人一人チェック。行動食もリーダーが用意している。すぐ食べられるようにと皮まで取ってビニール袋に入れる。自分で用意したものは手つかずのまま家まで持ち帰るがまともな形のものはない。荷物の出し入れで押し潰されていた。お昼のお弁当が出るが食べきれないほどある。早めに床につき2〜3時間ほど仮眠して12時出発。ヘッドランプの明かりが頼りだ。一番の難所、ここで頑張らなくてはと今までの努力を発揮する。砂礫の急斜面につけられたジグザグの道を登る。寒さもあるので立ち休憩だけ。大分登ってから空が赤くな

り太陽が出ると大きな声が飛び交った。砂れきから岩山に両手を使い登り終えると、火口ふちのあるギルマズ・ポイント(5682m)の山頂に着く。火口縁を回り込むようにしてキリマンジャロ最高峰ウル・ピーク(5895m)に着いた。念願の山頂に思わず胸が？記念写真を撮り下山に入るが寒くていられない。ギボ峰の噴火口の周りは氷河があり、こも温暖化で年々小さくなっているという。下山に入るが、登りの苦しかったのが嘘の様にみんなワサワサ下山する。ギボハットでツリーダーの作ったツェルンでお腹を一杯に。ボロンハットに一泊。最後はマシハットまで降りてキリマンジャロ登山は終わりました。

山に想う

私が山を想うとき

#098 氏名削除

私と妻は平成11年まで一緒に登っていましたが、妻は膝を悪くしてしまいました。それまでの10数年間で一緒に登れないくつかの頂を踏むことができませんでした。二人だけでテント泊も何回か行い、登山の苦しさはもとよりその数倍の素晴らしさを味わうことができました。妻の感性は素晴らしく、感性が鈍く運動系は優雅に楽しむより体育会系スピリットで汗をかく私にいくつもの自然の感じ方を目覚めさせてくれました。せせらぎの音を聞き「こんなにやさしい水なのに、どうして音がするのだろう」、初秋の空の薄い雲を見て「なんてやさしい雲なんでしょう」、夕焼けを見て、下界で見る夕焼けと山で見る夕焼けの一寸した違いや色の変化を気づかせてくれました。

翌年両膝の手術を受けましたが良くはなりません。さらに原因不明の肘、手首の関節も痛みを伴うようになり、家の階段を後ろ向きで降りるようになりました。数年後の5月上旬に新穂高ロープウェイで上の駅まで行き晴天の展望台から西方の山の連なりを見て小さな声で妻が言った「あの山の向こうに何が見えるのか私はもう行けない見ることが出来ない」を聞き、妻は

やっぱり山の素晴らしさを忘れていない、行きたいのだと分かりました。

そして私は思い出したのです。初めての北アルプスが表銀座で、休憩したヒュッテ西岳でアイスクリームをうれしそうに食べている妻、仙丈ヶ岳途中の小屋で休憩した時に二人同時に感じたどんなエアコンより素晴らしい爽やかな風を。妻のさみしさを含んだあの言葉を思い出すと涙が出ます。それまで私が一人で山に行く計画を話しますと「いいわね一人で」と嫌味を言っていると思っていました。それからの山行にカマだけでなく、ビデオカメラも持っていくことにしています。ちなみにカメラの感性も妻の方が良くいい写真を撮ります。山からのお土産は、元気な笑顔とビデオ映像です。映像を見せると山のことが一応分かる妻ですので、拙い映像から溪谷の荒々しさや水の深さ等を感じてくれます。

それでも薬で少しずつ痛みを和らげられるようになり、数年前から負担の少ないショートスキーなら履けるようになり、一昨年はロープウェイを使い西穂山荘まで歩くことができました。下りはなんとか倍の時間が掛かりましたが、歩けました。昨年は秋、八甲田の毛内岱の紅葉を見ることが出来、今年は千丈敷の上まで行きたいと希望していたのです。妻は3年前に不整脈からペースメーカーを着けましたが、先月から心不全を併発して入院中で高性能なペースメーカーに交換となります。

今後は、日常生活で坂道を歩くのもきつくなるようです。しかし、私は妻の一言を忘れません。車やロープウェイを使って行くことの出来る、山がきれいに見える場所に妻をどんどん連れて行くつもりです。これが私の「山を想うとき」です。

今回は氏名削除さんの登場です。

2014 年度総会/3月例会 3/15 (土)、厚木市睦合南公民館 1F/展示室、総会 18:00-19:00、例会 19:30-21:00、軽食を用意します。世話人は 17:30 までに集合。